

献血バスが出張します

「団体献血」にご協力ください！

「団体献血」をご存じですか？

献血バスが企業や学校などに
出張して実施するのが「団体献血」
です。市内では、年間10～
20ほどの団体にご協力いただい
ています。

「もう40年以上になるでしょ
うか。企業にできる社会貢献とし
て団体献血は取り組みやすいと
思います」と話すのは、ニッタ
株式会社 名張工場長の河原伸一
郎さん。同工場では今年度、団
体献血を3回実施し、献血者は
のべ100人を超えるました。

工場専属の保健師、福谷由貴
さんは、「課長級の社員が積
極的に献血に協力するよう
になり、工場全体で、仕事

の合間に気軽に参加できる雰囲
気が生まれているんですよ」と
笑顔をみせます。

協力者の時間を調整するなど、
業務に支障がないような配慮
もしているほか、会社でお菓子
を用意したり、1月には手作り
のおみくじを作ったり。「楽し
く献血を」がモットーです」と
福谷さん。初めて献血に挑戦す
る人も少しずつ増えています。

安定供給が困難になるおそれも

三重県赤十字血液センターの大西啓太さんは、「県内では50代
以上の献血者が約半数を占め、
10～40代は減少傾向にあります。
少子高齢化が進む中、将来の安
定供給が困難になるおそれがあ

ります」と実情を訴えます。
多くの「いのち」をつなぐ献血
で提供いただいた血液は、
輸血や治療などに使われます。
(市役所などの献血日程は、
広報4月号に掲載します)。

問 医療福祉総務室

■ 63-7579



献血者にお菓子を配るなど積極
的に団体献血に取り組んでいる
ニッタ株式会社。「楽しく献血
を」がモットー。写真は工場長
の河原さんと保
健師の福谷さん



「団体献血にご協力いた
だける企業などがありましたら、お気軽にご連絡
ください」と、赤十字血
液センターの大西さん。
団体献血について詳しく
は電話(059-273-
6702)や、センタ
ーのHPで



昨年、初めて献血したという社員
の富田伸也さん。「妻が出産の際、
輸血が必要な場面がありました。
私も子どもも、いつ輸血が必要に
なるか分かりませんよね。私の血
液が誰かの役に立っているのかと
思うと、うれしいじゃないですか。
職場での献血は協力しやすいので、
ぜひ続けていきたいです」